

[地質データ解析プログラムソフトウェア]

StereoWinPro2

プロに選ばれる

理由がここにある。

直感的操作性と高い自由度で様々なアウトプットが可能

地質構造に係る走向傾斜や開口幅等の亀裂データを入力することで、ステレオネットが簡単に作成できます。



データ入力

BIPS解析結果をそのままインポート



分析と解析

ステレオネット図、岩盤状態図
見掛け傾斜図、分散図etc



多様な形式変換出力

DXF、JPEG、BMP、WMF

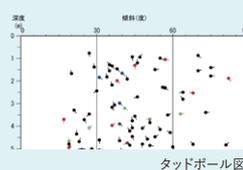
StereoWinPro2

3つの特長

新機能

ユーザーのリクエストに応えた新機能を搭載

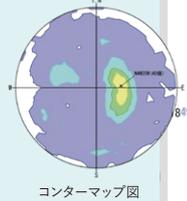
- 深度と走向・傾斜の関係が一目でわかるタッドポール図
- 便利なundo機能
- レイヤー機能で各種ネット図を重ね合わせ表示可能



表現方法

拡張した編集機能によって高いカスタマイズ性を実現

- コンターマップの色付けによって視認性が向上
- 配色や線の太さなど自由に選択することが可能
- お気に入りのレイアウトにできる雛型機能



管理

ユーザビリティの高いファイル管理機能で作業効率アップ

- 1孔分の図表を1ファイルで保存・管理
- 解析結果をWordやExcelに直接貼り付け可能
- dxf、jpeg、bmp、wmfの4種類にエクスポート可能



ステレオネット図

ステレオ投影は球面を平面に投影する手法の1つで、走向傾斜等の三次元情報を
二次元で表現する際に用いられます。StereoWinPro2では次の6種類の表現を選択できます。

■ π ダイアグラム

不連続面をプロットした図。StereoWinPro2ではネット図毎に
レイヤー分けして複数の図を重ね合わせることができます。

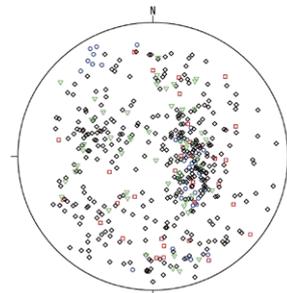
■ カウントダイアグラム

π ダイアグラムでプロットされた不連続面の構成比を表現した図。
分散閾値の調整や色分けなど細かな設定ができます。

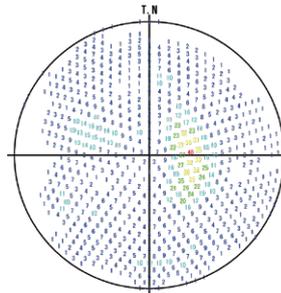
■ コンターマップ図

カウントダイアグラムを基に等高線を描画した図。
コンターマップの色付けが可能になったことで
走向傾斜の傾向が一目で把握できます。

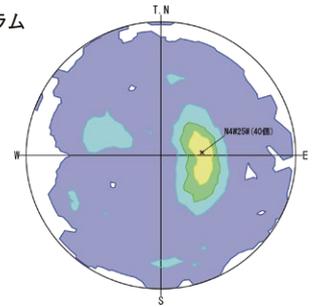
■ ローズダイアグラム ■ 大円 ■ 応力場解析



π ダイアグラム



カウントダイアグラム



コンターマップ図

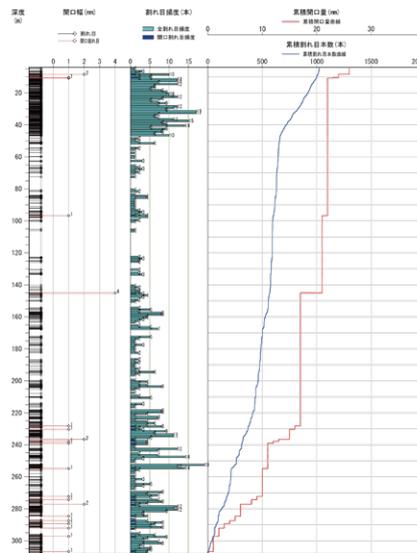
岩盤状態図

レアックスが提案している法面や斜面における緩み域の
定量的評価に有効な複合図です。割れ目分散図、
割れ目頻度分布図、累積開口量曲線、累積割れ目
本数曲線による総合的な岩盤評価に用いられます。

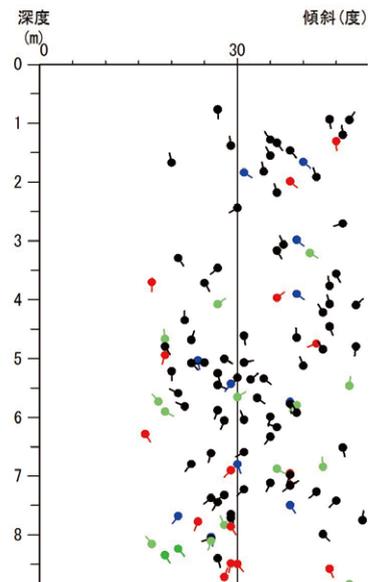
タッドポール図

StereoWinPro2に新たに搭載された新メニュー。
不連続面の深度、方位、傾斜を「おたまじゃくし(tad pole)」の
記号で表現しています。

■ 見掛け傾斜図 ■ 分散図 ■ AVTD図



岩盤状態図



タッドポール図

User's Voice [お客様の声]

地質調査業/A様



ビジュアル面が強化され、表現の幅が広がった。また、
作図用のテンプレート機能の搭載により、これまで個別
に作成していた作業時間を短縮できるようになった。さら
に、すべてのファイルデータはボーリング孔毎に一元
化されること、各設定条件が一覧に表示されていること
から、ヒューマンエラーの予防にも期待できる。

地質調査業/B様



数十年ぶりに家電を新しく買い替えた時のような感
覚。最初は大規模なUIの変化に驚いたが、一度雛型
を作成すれば、その後のデータのインポートで素早
く成果物を作ることができる。旧バージョンより効率
的で、雛型を作る手間さえ乗り越えれば、作業工程
が大幅に減った。

